

令和五年度

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

小規模多機能ホームおあしす国分



◆事業所自己評価

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

令和6年3月25日
小規模多機能ホームおあしす国分
霧島市国分福島三丁目61番3号
電話 0995(48)5262
FAX 0995(48)5263

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 12 月 26 日 (18:00~20:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 16 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3 人	10 人	3 人	0 人	16 人

前回の改善計画

○利用前の情報収集は可能な限り本人、ご家族より直接意向を聞き取りサービスに反映する。
○サービス開始時における本人の不安などがあれば原因は何かを早期に探り解消に努める。

前回の改善計画に対する取組み結果

○概ね実行することができていた。
○サービス開始時における本人の不安解消や注意点などの現場への周知等はケアマネジャーを中心に行われた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6	8	2	0	16
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	11	1	0	16
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	4	12	0	0	16
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	9	4	0	16

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

○本人や家族のニーズに対して傾聴してサービスに反映することが出来ていた。
○カンファレンス、ミーティングの機会を活かし課題に取り組んだ。

できていない点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

○スタッフによっては家族とのかかわりが少なく、情報を十分に把握出来ずにサービス開始に至る者もいた。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

○利用開始における情報収集を可能な限り本人やご家族様から聞き取りサービスに反映する。
○利用開始前における利用者様の情報共有にスタッフ全員で取り組み利用者様の利用における不安解消に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月26日(18:00~20:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	8人	5人	0人	16人

前回の改善計画	○利用者様本人の希望を具体化出来るようコミュニケーションを十分に図り「～したい」という思いを探る。 ○本人だけではなくご家族様、近隣住民の方などからの情報収集に努める
前回の改善計画に対する取組み結果	○利用者様本人の「～したい」の実現に対して事業所だけでなく家族、地域の方々からも協力を頂くことが出来た。 ○認知高齢者への理解や認知症の学習を活かしたケアを行う事が出来ていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	3	8	5	0	16
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	10	3	0	16
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	10	4	0	16
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	11	2	0	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
○利用者様本人の目標や自己実現を把握したうえでスタッフはケアを行った。 ○ミーティング等の時間を活用して情報を共有した。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
○ミーティングにあまり関わっていないスタッフもいた。 ○ケアマネージャーとの意見交換の時間が少なかったスタッフがいた。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
○ケアマネージャーを主としてスタッフ全員で本人の「～したい」を実現するための課題に取り組む ○ミーティングやカンファレンスの時間を有効に活用して積極的に意見交換を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月26日(18:00~20:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	11人	3人	0人	16人

前回の改善計画

○引き続き10程度は本人の以前の暮らし方を把握出来るよう職員は各自努める。
○本人の心身や環境の変化に応じて必要と思われるサービスの追加または変更を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

○利用者様本人についての情報収集は担当者を付けて取り組む事が出来た。
○利用者様の体調や生活の変化に応じたサービスは概ね出来ていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	4	10	1	16
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	8	8	0	0	16
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	4	12	0	0	16
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	7	9	0	0	16
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	11	1	0	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

○基本的な身体介助は適切に行えている。気持ちに寄り添うケアが行えている。
○ミーティングのを随時行い本人の以前の暮らしについての情報収集に取り組むことが出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

○「以前の暮らし方」について目標の10には達していない利用者様もいた。
○情報の共有、周知において時間を要する利用者様もいた。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

○引き続き10程度は本人の以前の暮らし方を把握出来るよう職員は各自努める。
○日頃の支援の中から本人の健康状態や生活状況の変化に気づき適切なサービスを提供出来るようスタッフ間で情報共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月26日(18:00~20:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	4人	5人	16人

前回の改善計画
○本人が住み慣れた環境で生活を続けられるよう家族や地域住民を巻き込んだ生活支援に取り組む。
○コロナの感染状況に十分配慮しながら地域交流に取り組む。

前回の改善計画に対する取組み結果
○利用者様によって地域住民を巻き込んだ生活支援については関係性が薄い方もいた。
○コロナ感染症のまん延などのリスクにより地域交流は消極的であった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	5	4	5	16
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	6	5	2	16
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	8	4	2	16
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	3	4	3	6	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
○利用者様個々の生活スタイルを尊重したサービス提供にスタッフが取り組む事が出来た。
○コロナ感染症の予防には事業所全体で取り組む事が出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
○ケースによっては地域交流の薄い利用者様もいた。
○事業所よりコロナ感染者がでるなどあり積極的に外に出て地域との交流などは行われなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
○住み慣れた環境で利用者様が生活を続けられるために家族、地域等の協力を頂きながらの生活支援を検討する。
○利用者様とのかかわりの中で地域住民との関わりをもちサービスを利用していない時の情報を探る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月26日(18:00~20:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	10人	2人	0人	16人

前回の改善計画

○小規模多機能ホームの特性を活かしたサービスを引き続き提供する。
○地域資源を組み込んだサービスをミーティング等の時間を活用して検討する。

前回の改善計画に対する取組み結果

○ニーズに応じたサービス内容やサービス提供時間の変更などは柔軟に行っていた。
○病院等の地域資源が主であり新たな地域資源の発見等の活動はあまり出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	10	2	2	16
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	8	3	0	16
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	8	8	0	0	16
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	9	1	0	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

○小規模多機能ホームの特性を活かした柔軟なサービスを提供することが出来た。
○ミーティング等の時間を有効に活用して利用者様に適切なサービスを提供することが出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

○新たな地域資源の発見に対しては活動が乏しかった。
○本人の強みを活かしたサービス提供をミーティング等で検討し行うべきであった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

○小規模多機能ホームの特性を活かしたサービスを引き続き提供する。
○地域資源を活かしたサービスを検討して地域で本人の生活を支えられるよう努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月26日(18:00~20:00)

6. 連携・協働

メンバー 16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	2人	4人	8人	16人

前回の改善計画
○感染予防を徹底した関係機関との協力や地域住民、ボランティアとの交流を事業所内で行えるよう検討する。
前回の改善計画に対する取組み結果
○運営推進会議の事業所での開催など限定的な地域住民との交流しか行われなかった。 ○管理者やケアマネージャー等がサービス機関との会議に主に参加しておりスタッフによっては関係性が乏しかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	3	2	3	8	16
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	2	1	11	16
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2	0	2	12	16
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	0	2	12	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
○利用者様にかかわりのある病院や福祉用具関連との連携は適宜行うことが出来た。 ○地域包括支援センターが主催する会議に参加した。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
○事業所の管理者やケアマネージャーが会議等には参加しておりサービス機関とのかかわりの差がスタッフ間であった。 ○コロナ感染症や職員の体制などの影響により各種機関のイベントにはあまり参加出来なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
○感染症の予防を行いながら各種機関との連携、イベントへの参加を検討する。 ○登録高齢者だけの支援にとらわれることなく福祉の事業所としての活動に協力する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月26日(18:00~20:00)

7. 運営

メンバー 16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	7人	3人	3人	16人

前回の改善計画

○事業所運営についての意見は真摯に受け止め事業所の改善に取り組む。
○事業所から地域の皆様に意見を頂けるよう足を運ぶ機会を作る。

前回の改善計画に対する取組み結果

○利用者様やご家族様からの意見や苦情には早急に対応するなど事業所の改善に取り組む事が出来た。
○運営推進委員の皆様からご意見を伺うなどの活動が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	3	6	2	4	16
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	7	9	0	0	16
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	4	3	5	16
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	3	4	3	6	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

○職員会議等の時間を活用して職場環境の改善に取り組んだ。
○苦情対応などは早急に対応した。
○運営推進会議の開催により委員の皆様より意見を頂いた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

○運営推進会議は管理者やケアマネージャーの参加が主であった。
○地域と協働した取り組みが少なかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

○事業所運営における改善点などを職員会議などで出し合い課題解決に向けてスタッフ全員で取り組む。
○利用者様、家族、地域などの意見、苦情などは真摯に受け止め早期対応に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月26日(18:00~20:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	6人	4人	1人	16人

前回の改善計画

- 部内研修は引き続き計画を立て全ての職員が学習に取り組めるようにする。
- 地域連絡会への所属を増やせるよう努める。
- 資格取得を目指している職員へはサポート体制を確立し合格に近づけるよう努める。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 部内研修を計画適に実施することが出来た。
- 地域連絡会の所属者が1名から2名に増えた。
- ケアマネージャーの資格取得に受験者が取り組んだが合格には至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	10	4	1	1	16
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4	2	8	2	16
③	地域連絡会に参加していますか	3	2	2	9	16
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4	6	4	2	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 部内研修、外部研修など計画的に実施出来た。介護の知識を身につけることが出来た。
- 地域連絡会所属の職員が増加した。
- 介護事故等の対応を早急に行った。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 職員の体制が確保出来ず全ての職員が外部研修に参加することは出来なかった。
- ケアマネージャー資格取得を目指した職員がいたが合格には至らなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- 部内研修や外部研修を計画的に実施することで事業所全体の介護の知識の向上に努める。
- 地域連絡会への所属を増やせるよう努める。
- 資格取得を目指している職員へのサポートを行い有る資格者などが協力する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月26日(18:00~20:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	9人	1人	0人	16人

前回の改善計画
○不適切ケアとは何かということを随時職員間で意見交換を行い身体拘束や虐待の芽を摘むことの出来る事業所を目指す。 ○プライバシーや個人情報への管理を徹底する。 ○成年後見制度に関する機会を作り職員の知識の向上に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
○身体拘束、虐待などは事業所内で認められなかった。 ○利用者様、職員などプライバシー、個人情報の取り扱いを適切に行うことが出来た。 ○成年後見制度を利用した利用者様の事例は無く知識の向上には繋がらなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	15	1	0	0	16
②	虐待は行われていない	16	0	0	0	16
③	プライバシーが守られている	11	5	0	0	16
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	0	7	7	16
⑤	適正な個人情報の管理ができている	11	5	0	0	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
○事業所内での身体拘束、虐待は認められなかった。 ○プライバシーや個人情報の取り扱いについては注意をして取り扱う事が出来た。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
○成年後見制度について学習する機会が少なかった。 ○利用者様に対する言葉使いや口調については十分ではないと感じた。	

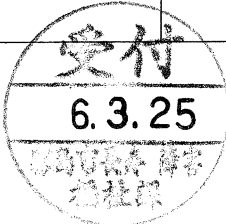
次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
○不適切なケアの無い事業所として職員者を中心とした職場環境づくりに努める。 ○プライバシーや個人情報への管理を徹底する。 ○成年後見制度に関する機会を作り職員の知識の向上に努める。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社メディコープ	代表者	代表取締役 中道 浩二	法人・ 事業所 の特徴	利用者様ができるだけこれまでの生活を続け、その人らしく「わが家」で暮らし続けることができるように支援していきます。また、霧島市の「まちかど介護相談所」としてライフサポートワーカーを配置し、地域からの介護などについての相談窓口となっています。
事業所名	小規模多機能ホーム おあしす国分	管理者	前川 和弘		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	人	1人	1人	人	1人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	○運営推進委員の皆様や地域の声を聴いて介護事業所の運営や改善を職員全員で取り組む。	○職員が連携して事業所の課題に取り組む事が出来ていた。	○全員がかかわりをもって事業所の取り組みを行っていることが良く分かりました。	○事業所の課題はスタッフ全員で意見交換を行い改善に努める。 ○運営推進委員を始め地域の声を聴き取り事業所の改善に取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境	○事業所を常に清潔な状態に保ちどなたでも事業所を気持ちよく利用して頂けるよう努める。 ○観葉植物や野菜、季節の作品作りなど季節に合わせた活動をご利用者様と一緒にやる。	○事業所の環境整備に取り組んでおり利用者が過ごしやすい雰囲気生活できている事について良い評価を頂いた。	○面会も受け入れていて利用者さんも楽しく過ごせているようですね。 ○施錠などを行っていないことは説明を受けて知りました。	○事業所内、外の環境整備に取り組む利用者様だけでなく外部の方からも居心地のよい事業所と思われるよう努める。 ○家庭菜園や作品作りは季節に合わせたテーマに沿って行い、利用者様と一緒に活動する。



<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域活動や地域のイベントにご利用者様と一緒に参加する機会を作り、事業所の事を広く地域の方に知って頂けるよう取り組む。 ○地域の方より介護に関する相談があればいつでも相談を受け支援に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○感染症の影響からスタッフの積極的なイベント参加については行われなかった。事業所の周知の為に地域イベントへの参加を積極に行う必要があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○感染症の影響もありましたが、地域のイベントなども再開されているようです。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所の環境整備は常時行い事業所を利用される全ての方に居心地の良い事業所と思われるよう努める。 ○地域との交流に取り組み地域の困りごとや相談をしやすい事業所づくりに努める。
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の情報を収集して地域の皆様との交流をもてるイベントに参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域行事への参加は感染症リスクの観点から積極的に行われなかった。 ○高齢者以外への相談支援等活動が分かりづらかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ感染症やインフルエンザに感染する可能性があるのではなかなか参加は難しかったでしょうね。 ○高齢者以外の地域で心配な方への支援が分かりませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域のイベントを始め利用者が住み慣れた地域でかわりを持ち生活を続けられるよう支援を行う。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○運営推進委員の皆様との意見を事業所の改善に活かし発展出来るよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○対面での運営推進会議を行うことができ意見交換がやり易くなった。 ○事業所の活動について説明が適切に行っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○運営推進会議も対面での開催になって意見交換がやりやすくなりました。 ○事業所の取り組みが分かりやすく説明できていますね。 	<ul style="list-style-type: none"> ○運営推進委員の皆様との繋がりを大切にして事業所の利用者や地域の課題解決に努める。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○消防訓練を定期的実施し災害に備える。 ○地域の防災訓練に職員が参加して地域との交流やたすけあい関係を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所の防災訓練は計画的に実施されていた。 ○地域の防災訓練への参加が出来なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の防災訓練がありましたら参加をお願いします。 ○以前は事業所の消防訓練に参加したことがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○災害が起きても適切な判断と対応ができる体制作りに努める。 ○事業所が地域の皆様と協力して災害に備えることのできる関係を構築する。